

青果物



和歌山県 紀南農業協同組合 『紀南の特産品を東南アジアへ』

【主な品目】

うめ・冷凍梅・柑橘・梅関連加工品

【主な輸出先国・地域】

香港・マレーシア・シンガポール・タイ・台湾

【輸出取組の概要】

- ◆ 生梅・冷凍梅・柑橘類・梅関連加工品を東南アジアへ向けての輸出拡大を目指し、産地、行政、国内輸出業者、現地輸入業者、現地小売店が連携した取組を実施。

【輸出実績】（平成26年度より輸出開始）

| | 輸出額(万円) | 輸出量(t) | 出荷時期 |
|--------|---------|--------|--------|
| 令和元年度 | 約2,450 | 約32 | 青梅・6月 |
| 平成30年度 | 約1,900 | 約33 | 柑橘・10月 |
| 平成29年度 | 約1,850 | 約35 | ～3月 |



ダイショータイランド商談会
冷凍梅の対面PR

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 青梅の果皮茶褐色化症状と柑橘の腐敗果が発生したため、原因究明及び改善方法を模索
- ・ 加工をしないと食せない梅をどのようにPRするか
- ・ 検疫条件により青果物を輸出できない場合の対応（タイ、アメリカ等）。



伊勢丹(マレーシア)
生産者が梅を直接PR

【生じた課題への対応】

- ・ 青梅包装資材を数種類準備し輸送試験を実施するとともに、柑橘は品質チェックを強化
- ・ 英語や現地語のパンフレットやレシピを活用し、現地で試飲PRを実施
- ・ 青果物は加工した冷凍梅で梅シロップや梅酒の作り方を実演、みかんはストレートジュースに加工して販売



ビレッジグロッサー(マレーシア)
生産者の試食販売

【対応の結果】

- ・ 梅障害果と黄熟化発生が少ない包装資材を特定、柑橘は選別の徹底
- ・ 現地ニーズに合致した量り売り方法で販売する、シロップ瓶に入れるなど現地の志向に合わせた販売方法に変えて、売り上げに繋がった

【今後の課題・展望】

- ・ 鮮度保持資材確立と船便輸送実現により販売数量の拡大
- ・ GAPやHACCP認証の取得への取組
- ・ 生産者とともに販促(消費宣伝)実施、輸出への理解と視野拡大、生産意欲の向上



輸入卸業者との会議(マレーシア)
みかんの生産者を交えて、品質など
について会議

【ウェブサイト】 <http://www.ja-kinan.or.jp/>

【連絡先】 担当者名: 下岡、TEL: 0739-25-4522